

多度津町

文化財マップ

第8版

令和8年3月31日

多度津町教育委員会



多度津町は古い歴史と伝統のある町です。そのため、町内には旧石器時代から近代に至るまで様々な時代の歴史的遺産が点在しています。

この文化財マップでは、その中のいくつかを紹介しています。このマップを手に町内を巡って、歴史・文化に興味を持つきっかけになっていたければ幸いです。

【無形民俗文化財】

- みなみがねんぶつおどり

11南鴨念仏踊

南鴨念仏踊は風流踊りの一種で、雨乞いの念仏踊。南鴨地区にある加茂(賀茂)神社で行われます。平安時代に道隆寺の理源大師が菅原道真に降雨の祈禱を依頼され、祈念した結果雨が降り、鴨村の百姓が喜びのために踊り始めたのが、起源とされています。(I-3)


- みなみがも だいほんにゃきょうじゅんこう

12南鴨の大般若経巡行

大般若経巡行は県指定の「大般若波羅蜜多経」を用いて行われる無病息災を願う神事。大般若経を入れた長持を舁(かつ)いで町を練り歩きます。(I-3)


- かさやてんまじんじゃこどもうま

13笠屋天満神社子供馬

庄地区の氏神である天満神社の秋祭りの中で行われる踊りで、古代に讃岐国の国司であった菅原道真が巡見しに笠屋の地に訪れたときに里人が馬を作ってお迎えしたという伝説から、木枠に紙で作った馬の中に入った子供たちが踊りながら行列をくみます。毎年10月の中旬頃に開催されます。(I-4)


- おど およ おんど

14ヤットセー踊り及びヤットセー音頭

白方地区で行われている盆踊りの一種。特徴としては、踊りとクドキ(唄)があります。クドキは日常の出来事をユーモラスに歌いこみ、踊りは全身を使ってリズムカルに踊り両者の調和がとれた伝統豊かなものである。毎年8月の第2日曜日に開催されます。(F-5)



- 【史跡】

あまざりじょうせき

1天霧城跡

国指定 大字奥白方字天霧

谷山から天霧山の尾根に沿って南北朝時代から戦国時代にかけて作られた山城です。讃岐の守護細川氏に従って来た香川氏の詰城として利用されました。(マップ上 G-6・G-7・F-7)


- もりつちやまこふん

2盛土山古墳

県指定 大字奥白方字片山121他

古墳時代中期に築造された円墳。現況では墳丘は2段に構築され、二重周濠を持っています。二重周濠まで入れると直径77mあります。県下にある円墳の中で最大級の規模です。(G-5)
- きゅうきょうごくしたどつはんかちゅうやしき たどつはんじんや

3旧京極氏多度津藩家中屋敷(多度津藩陣屋)

町指定 家中

文政8年(1825年)、多度津藩4代藩主高賢の時に設置された藩庁。調練場・馬場・射場・御館・新館・鼓楼・学館(自明館)・堀・門・廊・外門等が設置されていました。現在も一部の建物や石列、区画の痕跡があります。一部は埋蔵文化財包蔵地「多度津藩陣屋跡」となっています。(H-2)
- みいしょうはちまんぐうさんどう ばばさき いよかいどう

4三井正八幡宮参道及び馬場先の伊予街道

町指定 三井正八幡神社

平安時代後期に造営された八幡宮五ヵ所の一社である三井正八幡宮の参道。昔から深い信仰を集め、近くの南海道の薨井(みかい)駅ともあいまって金毘羅街道の要所でした。参道の馬場先は伊予街道と交差しています。(I-5)


- みたらいやまこふん

5御産霊山古墳

町指定 大字西白方997-7

海岸寺奥の院の西端にある全長約40mの古墳時代前期の前方後円墳。(E-5)
- しゅくちこふん

6宿地古墳

町指定 大字青木字宿地802-2

青木の北山南端部にある古墳時代終末期の円墳。巨大な石材を使った横穴式石室を持つ巨石墳とよばれるものです。(G-4)



- 【天然記念物】

たかみじまりゅうおうぐうしゃそう

7高見島龍王宮社叢

県指定 高見島龍王山

高見島龍王山の山頂にある龍王宮を中心にした東西70m・南北60mの社叢。主な植物はシロダモ。他にはカゴノキ・ヒサカキ・イヌビワ・ヤブニッケイ等がみられます。(B-6)


- 【歴史的景観】

あらなみ こ おどこ ゆめ つぶ いくわかん きたまえぶねき こうち せんしゅしゅうらく

8荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

日本遺産 本通・西浜・東浜など

江戸時代後期からの港の発展と共に北前船の寄港地として発展し、廻船問屋の住宅や蔵、旅館などが建ち並んでいました。そして整備された港は金毘羅街道の玄関口としても栄えていきました。現在でも伝統的な建造物が残り、近世末から近代にかけて繁栄した多度津の歴史的景観を見ることができます。多度津町は令和元年5月に日本遺産に追加認定されました。(G-2・H-2・H-3)


- しこくへんろ かいゆうがたじゅんれいろう どくじ じゅんれいぶんか

9「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

日本遺産 道隆寺

四国遍路は弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国四県に渡る回遊型巡礼路です。町内には構成文化財である七十七番札所道隆寺があります。平成27年に日本遺産に認定されました。(I-2)
- たかみじまうらしゅうらく まちな

10高見島浦集落の町並み

高見

島の斜面に作られた石垣作りの集落。平地が少ない島の地形をそのまま利用した家々が集まっています。(C-6)



【有形文化財】

- さなざまながさき う ばか

15佐柳島長崎の埋め墓

県指定 民俗 佐柳島長崎地区

佐柳島にある2つの集落のうちの1つである長崎浦にある墓。両墓制といわれる遺体を埋葬(土葬)し、黒い円礫を敷き詰め、その上に桐の地蔵さんという木製の人形を立てた埋め墓の「サキバカ」「マエバカ」と遺族が参る参り墓「ホンバカ」があります。佐柳島はこの2種類の墓が近接して設置されているのが特徴です。(A-1)


- たかみはちまんぐうほうのうもけいわせん

16高見八幡宮奉納模型和船

県指定 民俗 多度津町立資料館

北前船として使われていた弁才船の1/10縮尺の模型です。日本遺産8の構成文化財。(H-2)


- こんびらどうろう

17金毘羅燈籠

町指定 建造物 金刀比羅神社・鶴橋

江戸時代後期に隆盛した金毘羅参りに人々が行き交った多度津金毘羅街道沿いに設置された常夜灯です。日本遺産9の構成文化財(H-3)


- たどつとりい

18多度津鳥居

町指定 建造物 桃陵公園内

元々は鶴橋付近にあった多度津金毘羅街道「一の鳥居」。寛政六年(1794年)に雲州松江(現在の島根県松江市)の金毘羅講中の寄進によって建てられました。日本遺産8の構成文化財(H-3)


- ぞう もとじぞう

19蔵の本地蔵

町指定 民俗 大字南鴨字糺301地先

南鴨地区にあった神社の御供田の境界を設けるために造られたしじじぞう



- こせきどう

20古石塔

町指定 建造物 仏母院

鎌倉時代末期に造られた石塔。西白方の仏母院にある。元々は近くの熊手八幡宮にあり、神仏分離令により、別当寺である仏母院に移設されました。(F-4)
- ほうきょういんどう

21宝篋印塔

町指定 建造物 加茂(賀茂)神社

宝篋印塔とは本来、「宝篋印陀羅尼經」という經典を安置する塔であつたとされています。南鴨地区にあった法泉寺跡から出土しました。基底部に文安2年(1445年)の紀年銘があります。(I-3)
- ちちがみ

22乳神

町指定 民俗 大字葛原字八幡1501-2ほか

石造りの小祠で祠の中の神像が乳房の形に見えるため乳神と呼ばれています。水の豊かさ豊年を祈るために田や水の神の祭場である水口に設置されました。(J-3・J-4)
- いしじぞう

23石地藏

町指定 民俗 佐柳島長崎地区

佐柳島長崎浦墓地の薬師堂の中にあります。高さ1.5mの大きな地藏で制作年代は室町時代と推定されています。海中から出現したという伝説を持っています。(A-1)
- たかみじまごりんどう

24高見島五輪塔

町指定 建造物 高見島浜地区

高見島の高見浜にある五輪塔。室町時代に建立されたものと言われています。(C-7)
- たかみじまう ばか

25高見島埋め墓

町指定 民俗 高見島浜地区・浦地区

高見島の高見浜と浦の集落にある両墓制の墓。(C-6・C-7)



その他の指定文化財				
名	称	指定	種 別	所 在 場 所 等
絹本着色星雲茶羅図		国	有(絵画)	道隆寺
絹本着色西谷藤兵衛肖像・夫人図		県	有(絵画)	県立ミュージアム
大般若波羅蜜多経		県	有(書跡)	加茂(賀茂)神社
木造薬師如来座像・木造釈迦如来座像		町	有(彫刻)	加茂(賀茂)神社 新薬師堂
古銭		町	有(考古)	加茂(賀茂)神社
絹本着色法華経曼荼羅図		町	有(絵画)	道隆寺
新続古今和歌集(写本)		町	有(書籍)	道隆寺
黒藤山古墳・向井原古墳		町	史跡	大字奥白方
延命地藏(貝殻地藏)		町	有(民俗)	弘浜八幡宮
富井家文書・高見島宮崎家古文書		町	有(書籍)	個人所有
武田家古文書		町	有(書籍)	多度津町立資料館・県立ミュージアム
佐柳島八幡神社奉納「北前船」模型		町	有(民俗)	佐柳島浦本地区
高見島なもて踊り		町	無(民俗)	高見島
熊手八幡宮高麗犬		町	有(彫刻)	熊手八幡神社
森長見一族の墓及び森長見の墓碑		町	有(建造物)	道隆寺・条6墓地
石造 六地藏(禪型厨子共)		町	有(民俗)	六地藏墓地
松本直之の墓碑		町	有(建造物)	六地藏墓地
奉納題発句集輯額		町	有(工芸品)	三井正八幡神社
自明館の扁額		町	有(工芸品)	多度津町立資料館
向山1号古墳出土銀象嵌入鉄刀		町	有(考古)	多度津町立資料館
多度津藩藩札版木及び刷台		町	有(歴史)	多度津町立資料館・一部個人所有
木谷家史料及び付属書籍		町	有(書籍)	多度津町立資料館
寛政/八年塩館佐柳島屋敷地面図				
武田三郎の版木と関係資料				
塩館島中明細古今録		町	有(歴史)	多度津町立資料館
上田樹徳関係資料				
北前船関係古文書				
佐柳島万屋文書		町	有(古)	多度津町立資料館

- はやしもとめてい

26林 求馬邸

町指定 建造物 大字奥白方698

慶応3年(1867年)に建てられた多度津藩家老林求馬の邸宅。(F-6)


- たどつきょうごはん ときだいこ

27多度津京極藩 時太鼓

町指定 工芸品 須賀金毘羅宮

多度津藩家中の陣屋で使われていた時刻を告げる太鼓です。(H-2)


- やまもといん

28山本医院

国登録 建造物 大通り5-11

大正15年(1926年)に建てられた木造2階建てモルタル塗りの洋風医院。(H-2)


- とみけいじゅうたく

29富井家住宅(主屋 座敷 土蔵 門)

国登録 建造物 家中8-6

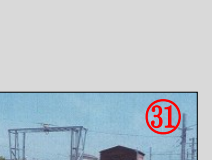
文政11年(1828年)に建てられた武家屋敷。(H-2)


- きゅうごうだけいじゅうたく しまや

30旧合田家住宅(島屋)

町指定 建造物 本通一丁目5-2

明治中期から昭和初期にかけて建築された10棟3基の建造物が並ぶ北前船で財を成した多度津七福神「合田家」の邸宅。日本遺産9の構成文化財。(H-3)


- たどつ えき こうないてんしゃだい

31JR多度津駅 構内転車台

国登録 建造物 栄町三丁目

J R多度津駅内にある戦後の昭和25年(1950年)に作られた転車台。近代化する当時の様子を残したものとなっています。(H-3)


- たどつこうじょう

32JR多度津工場

(職場15号・34号/諸舎1号) 国登録 建造物 多度津町大通り

J R多度津工場内にある建物3棟が対象となって近代化初期の様子を残しています。(H-2)



多度津町文化財マップ

【旧 道】

おくしらかたちく せきどうぶつぐん じゅんれいる いやだにみち
③③奥白方地区の石造物群のある巡礼路と弥谷道

江戸時代後期頃からの弥谷寺につながる巡礼路。途中には三十三観音霊場、磨崖仏、岩窟などの石造物群があります。(F-6・F-7)



たどつこんびらかいどう

多度津金毘羅街道

多度津町東浜の商工会議所あたりから始まる金刀比羅宮への巡礼路。江戸時代の後期頃に中興されます。道々に金毘羅参りに訪れた山口や広島、愛知などの講中寄進の常夜灯（金毘羅燈籠）が点在しています。現在は多度津町本通商店街の前を通っていますが、元々は田町筋を通っていたと考えられます。(H-2・H-3・H-4・I-4・I-5)

へんろみち

遍路道

四国八十八箇所霊場の巡礼路。多度津町内には77番札所道隆寺があり、町内の遍路道は、76番札所金倉寺から道隆寺への道と道隆寺から78番札所郷照寺へと繋がる道があります。途中には比較的古い道標、特に山口県の中務茂兵衛が寄進したものが多くあります。(I-2・I-3・J-2・J-3・J-4)

まるがめいよかいどう

丸亀伊予街道

江戸時代中期頃からの東西の街道、丸亀港から伊予松山へと繋がる道で、当時の陸路の交通の要でした。多度津においては南北に走る遍路道と多度津金毘羅街道に直交し、それらへの連絡路としても使用されていました。(J-3・J-4・J-5)

【町内の主要な遺跡】

町内には令和8年3月現在、109箇所遺跡が存在します。時代も旧石器時代から室町時代まで広い時代幅となっています。中でも地図上で示した南鴨遺跡は町内で一番範囲の広い遺跡で、遺跡内には条里地割に沿った坪界溝や溜井などがあり、弥生時代から室町時代までの弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、磁器などが出土しています。普通寺市との境界にある三井遺跡は多くの弥生土器を出土している遺跡です。道福寺にある中又北遺跡は縄文時代晩期の縄文土器が出土した遺跡です。西白方瓦谷遺跡は町内で確認されたなかで一番古い遺跡で旧石器時代から奈良時代までの遺物・遺構が確認されています。中東・奥白方南原・奥白方中落の3つの遺跡は弥生時代から中世戦国時代までの遺跡で、竪穴住居や掘立柱建物が発見された集落遺跡です。

- 凡例
- … 国指定・国登録
 - … 県指定
 - … 町指定・その他
 - … 旧(街)道
 - … 日本遺産
 - … 主要な遺跡

